

症状入力で対訳付き問診票

22言語対応、無料アプリ

病気の症状を入力すると外国語に翻訳して問診票を作る、22言語対応のスマートフォン(多機能携帯電話)用アプリ(応用ソフト)「ヘルスライフパスポート」を群馬大病院の研究者らが開発した。7月に無料で公開し、既に40カ国以上でダウンロードされたという。

日本語で微妙なニュアンスを伝えにくいに日外国人や、海外で医療機関を受診する日本人を想定。一度ダウンロードすれば、電波が届かなくても利用できる。

群馬大病院 在日外国人らに朗報

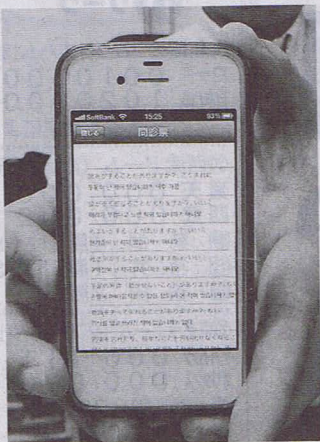
群馬大病院 研究者ら開発

頭や胸などの部位を選択すると「頭痛がする」ことがありますか」など、関連する問診項目の一覧を表示。症状の強弱や頻度を答えていくと、対訳を併記した回答済みの問診票ができる。

服用中の薬や、過去にかかった病気も記入できる。運営費用は画面に表示する広告収入で賄う。

iPhone(アイフォン)は22言語、基本ソフト(OS)がアンドロイドの機種で10言語に対応。開発した滝沢清美研究員は「海外では言葉が通じないため病院に行かず、症状が悪化する」とがある。薬局や災害時でも使えるので活用してほしいと話している。

ダウンロードサイトは <http://www.health-life.org/>



22言語で問診票を作成できる無料アプリ「ヘルスライフパスポート」の画面